

英語 授業づくり講座

in 香南市立佐古小学校

授業をアップデート!
生きて働く学びを創る!

東部管内の
講座情報



令和4年12月発行
東部教育事務所



第5学年 Unit6 I want to go to Italy. HRT 松山 修弘 教諭 ALT Rica Medina

学習指導要領における領域別目標: 聞くことア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。

話すこと【発表】イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

書くことイ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

単元目標: 自分が修学旅行で行きたい場所の魅力を伝えるために、行きたい場所でできることやしたいことについての表現を聞き取ったり、自分の気持ちを含めながら整理して話したりすることができる。また、例文を参考に音声で慣れ親しんだ語句や表現を用いて書くことができる。



松山 修弘 教諭



教材研究会 9月15日

単元ゴール: 修学旅行で行きたい場所を校長先生に選んでもらえるように、その場所の魅力を伝えよう。

教材研究会・事前授業を受けて変更

グループ協議より

協議の視点: 言語活動を通して資質・能力を育成する単元計画になっているか
児童の学習改善につながる本時の流れになっているか

- ・校長先生から「いいね」をもらう目的にすると、校長先生に気に入られることが目的になってしまう。「よりよいコミュニケーションにするためにはどうすればよいか」という本来、英語で思考させたい目的と少しずれてしまうので、「自分の思いを伝える」等の目的にすると見方・考え方が働くのではないか。
- ・なぜそこに行きたいのか、みんなが楽しめるのか等の条件を校長先生が示してしまうと、児童の思考が働かなくなるので「みんながどこに行きたいのか、みんなの気持ちが知りたい」等、校長先生の思いを伝えるなどするとよいのではないか。



単元デザイン(全7時間)

	第1時	第2時	第3時	第4時	第5時(本時)	第6時	第7時
学習活動	単元ゴールのイメージを持ち、行きたい場所の言い方や尋ね方を知る。マップシートで行きたい場所について整理する。	自分が行きたい場所とそこでできることを伝え合う。校長先生に伝えるために行きたい場所とそこでできることを書く。	自分が行きたい場所とそこでしたいことを伝え合う。校長先生に伝えるために行きたい場所とそこでしたいことを書く。	行きたい場所でできることやしたいことを紹介し合う。学習者用デジタル教科書を参考にして、自分の発表内容を見直す。	行きたい場所の魅力を伝える工夫を考え、再構築しながら紹介し合う。動画、マップシートを活用し、自分の発表内容を見直す。	プレ発表会を開き、行きたい場所の魅力がより伝わるよう再構築しながら紹介し合う。動画を活用し、自分の発表内容を見直す。	修学旅行で行きたい場所を校長先生に紹介する。
見方・考え方	行きたい場所の言い方やたずね方がわかった。自分の行きたい場所を校長先生に伝えたい。	できることを伝えるときは、canを使うことがわかった。できることを伝えられたら、場所の魅力がもっとわかりやすいだろうな。	I want to～.を使って、自分がしたいことも紹介したい。どんな写真を使えば、相手に伝わるかな。	行きたい場所でできることやしたいことをくわしく伝えたい。相手にきちんと伝わるように言いたいから、教科書の動画を観て練習しよう。	行きたい場所の魅力を伝えるために、自分の気持ちを加えて伝えたい。相手にわかりやすいように、話す順番を整理してみよう。	〇〇君のくわしく言う言い方がわかりやすくていいな。自分の発表に付け加えよう。	

授業研究会 10月28日

本時のめあて: 行きたい場所のみよくが伝わる工夫を考えよう。(5/7時間)

単元ゴール: 修学旅行で行きたい場所の魅力を校長先生に知ってもらうために、伝えたいことを整理して紹介しよう。

前時の代表児童の動画と HRT の動画を視聴 Thinking Time (前時の動画を視聴) Activity 中間指導 Thinking Time (マッピングシート) Activity 中間指導 Activity 動画撮影 振り返り

教師: What's ○○'s good point?
児童: Dolphin is cute. が良かった。
教師: どうしてこれが入るといいの?
児童: 「これを見て!」って伝わるから。
児童: 校長先生に魅力が伝わるから。
教師: 校長先生に場所の魅力を知らせてもらうことがゴールだったね。
〇〇君みたいにスピーチに付け加えられそう? 今日は何をする?
What's today's goal?

言語活動の目的の確認

主体的に見直しをもって学習に取り組めるよう、言語活動の目的を確認する。

校長先生に行きたい場所の魅力を知らせてもらうために、僕も出雲そばのおいしさを伝えたいな。
It's delicious. を使って詳しく言おう。



個人思考

友達の発表を参考にして自分の発表内容を考える。

児童: 癒やされるって言いたい。
教師: 何をして癒やされるってこと?
児童: 足湯で、癒やされるって言いたい。
児童: 気持ちがいいに言い換えたらかうかな?
児童: リラックスにしたらいいと思う。
ALT: Nice support!
児童: It's relax?
ALT: It's relaxing.
教師: みんなで練習ね。Rica 先生、Please.

伝えたい内容を既習語句を使って表現

どの表現を使えば、自分の考えや思いが相手に伝わるだろうか等、全体で意見を出し合う。

～児童の振り返りより～

〇〇君が「It's cute.」で自分の気持ちを伝えているのがすごいと思った。自分も行きたい場所の魅力を伝えた。校長先生に質問することもできた。cute や fun も使えたから良かった。



自身の学びや成長を自覚

本時において、友達から学んだことや自分でできるようになったこと等を振り返る。

ポイント

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況を児童と確認
聞いたり話したりしたことが、言語活動の目的や場面、状況に応じた内容・言語材料かどうかを考えるように促す。目的や相手を意識させ、伝える内容や伝え方を児童に考えさせることが大切です。
- 言語活動の質の高まり
友達や教師とのやり取りによって自分と友達の考えを比較したり、参考にしたりして自分の考えを再構築させる。また自分の考えの変容について、自ら学習のまとめや振り返りをさせることで思考力・判断力・表現力等を高めていくことが大切です。

グループ協議より

協議の視点: 目的・場面・状況に応じて児童が思考・判断・表現していたか

- 代表児童と HRT の動画を比較することで違いに気付かせ、本時のめあてにつなげていた。
- ポートフォリオとしての ICT の活用がとても参考になった。自分の成長に気付き、再構築する際のツールとして活用できていた。
- 言語活動の設定がとてもよかったので、児童の「伝えたい」という意欲が高まり、一人一人が思考・判断・表現ができていた。
- ▲友達の発表を聞いて気付いたことをペアでアドバイスし、全体でその気づきを共有すると学びが広がるのではないか。

